LCD Monitor

GD-32X1

INSTRUCTIONS

液晶ディスプレイモニター ◆ 取扱説明書

※ JVC は日本ビクターのグローバルブランドです。

LCT2575-001A-H

特長

- 豊富な映像調節メニューで
  高画質な映像が楽しめる ➔ A-2 ページ
- デジタル一眼レフカメラの写真を見よう
  ➔ A-11 ページ
- スリムデザインで自由なレイアウトが可能
- ゲームモード搭載で快適操作 ➔ A-5 ページ
- HDMI CEC 対応で周辺機器の操作が簡単
  ➔ 11 ページ

JVC

取扱説明書

液晶ディスプレイモニター

GD-32X1

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（ii ～ viii ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。

安全上のご注意

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

警告
「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容

注意
「人が傷害を負ったり、物的損害が想定される」内容

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと

一般的注意

感電注意

ケガに注意

実行して欲しいこと

プラグをコンセントから抜く
アース線を接続する

禁止されていること

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水場での使用禁止

警告 設置・使用

電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む

一般的注意

接触不良で発熱し、火災や感電の原因となります。最後までしっかりと接続してください。電源コードと AC アダプター、および AC アダプターと本体もしっかりと接続してください。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない

禁止

表示された電源電圧以外で使用しない

禁止

火災・感電の原因となります。

- 本機には一般のご家庭のコンセント（AC100V）でお使いいただくための電源コードと AC アダプターを添付しております。付属の電源コード、AC アダプター以外は使用しないでください。
- AC100V 以外（最大 AC240V）でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードを準備のうえお使いください。
- 本機に添付されている電源コードと AC アダプターは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない

電源プラグはコードの部分を持って抜かない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと感電の原因になることがあります。

- 電源プラグから出ているアースを建物に備えられているアース端子につないでください。
- アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行なってください。また、アース線を外すときは、電源プラグを抜いた後に行なってください。
- アース線はコンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら電源プラグに触れない

電源コードを傷つけない

- 電源コードを加工しない
- 無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしない
- 電源コードの上に機器本体や重い物をのせない
- 電源コードを熱器具に近づけない

この機器の上に水の入ったものを置かない

内部に物を入れない

感電を起こすことがあります。特にお子様には十分注意してください。

この機器の裏ぶた、カバー、キャビネットは外したり改造しない
AC アダプターは分解しない

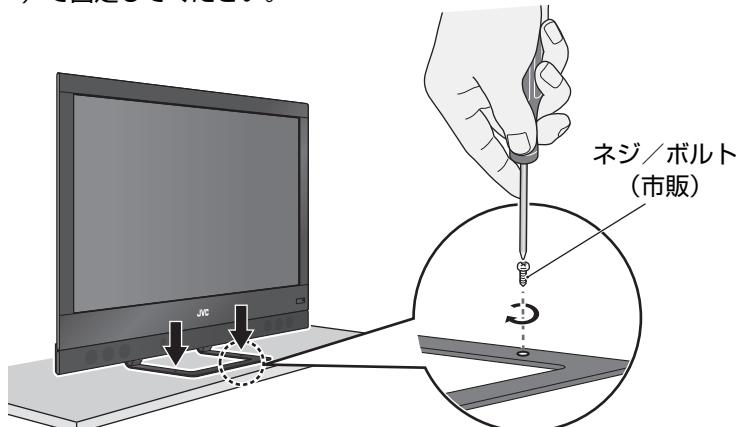
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

警告 設置・使用

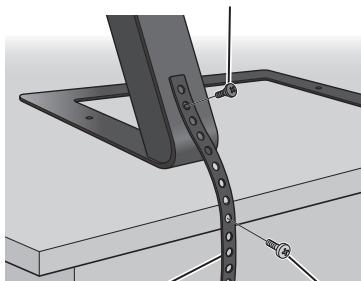
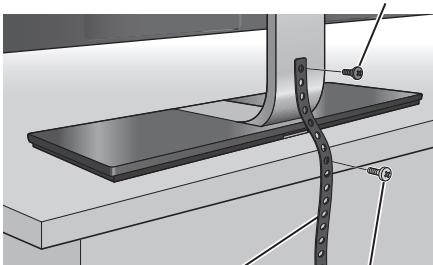
傷害を防止するために、この機器は床／置き台にしっかりと固定してご使用ください。

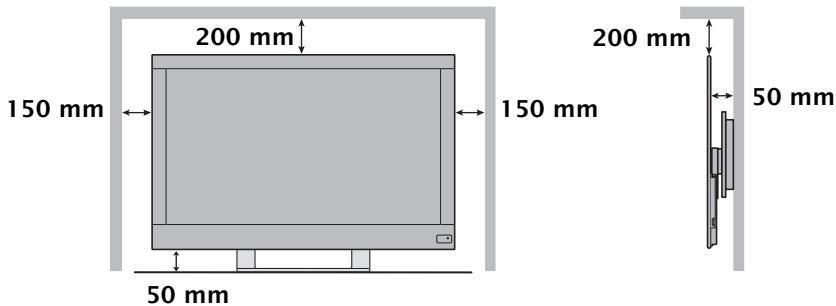
一般的注意

テレビ台の天面に固定する場合

スタンドの穴を利用して、市販のボルト・ナットまたはネジ（φ4mm）で固定してください。

テレビ台の背面に固定する場合

付属の転倒防止用バンドとネジを利用して、市販のネジ（φ4mm）で固定してください。

● 付属のスタンドを使用する場合

● 別売りの専用スタンド（TS-C326TS1）を使用する場合

壁や他の機器と間隔をあけて設置する

本機は若干熱を帯びる構造になっています。過熱防止のため下図の空間距離を保つとともに、取り扱いには十分気をつけてください。

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける

本機は、電源プラグの抜き差しで、主電源が入り / 切りします。本機を設置するときは、できるだけコンセントの近くに設置してください。

水滴のかかる場所（風呂場、シャワー室など）で使わない

火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする。
- 画面が映らない、音が出ない。
- 内部に水や物が入ったとき。
- 落下などにより破損したとき。
- 電源コードが傷んだとき。

➡ 電源スイッチを切る。
電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に修理を依頼してください。

注意 設置・使用

設置の注意

- メーカー推奨のキャビネットまたはスタンドを使うこと。
- 本機を安全に設置できる家具を使用すること。
- 置き台、家具などから本機がはみ出さないように設置すること。
- 背の高い家具の上に設置する場合は、本機を適切に固定すること。
- 本機の下に布などを敷かないこと。
- テレビを操作しようとして子供がテレビを置いている家具などに登らないよう注意すること。
- テーブルクロスなどを掛けないこと。

次のような場所に置かない

- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるところ
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 押し入れの中や、本箱などの上
- じゅうたんや布団などの上

長時間使用しないときは、電源プラグを抜く

お手入れをするときは電源プラグを抜く

移動するときは電源プラグや接続コード類を外す

すべてのランプが消えていても、電源プラグがコンセントに差し込まれていると、本機には電力が供給されています。完全に電源を切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

取り外したカバー、キャップ、ネジなどは、小さなお子様の手の届くところに置かない

万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

電源コード、接続ケーブルは引っかからないように本体後面で束ね、壁、床などのすみに配置する

液晶画面に衝撃を与えない（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない）

液晶画面のパネルが割れて、けがの原因となることがあります。

キャスター付きテレビ台に乗せるときは、キャスターを固定する

キャスターにストッパー機能があるときは、必ずストッパーをロックしてください。

この機器の上に乗らない、ぶら下がらない

この機器の上に重い物を置かない

長時間、音が歪んだ状態で使わない

工具はそれぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用する

健康のため、1 時間ごとに 10 分～ 15 分の休憩をとり、目を休めてください

1 年に 1 度は内部の点検を販売店にご相談ください

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。その後、医師に相談してください

お手入れのしかた

画面のよごれは

画面には反射防止のための表面コーティングなど、特殊な薄膜層が形成されています。この薄膜層がダメージを受けると「ムラ」「変色」「キズ」「欠陥」など、修理不可能な外観変化が生じる恐れがありますので次のことに注意してください。

- 画面にのりやテープなどを貼らない
- 画面にペンなどで書き込みをしない
- 画面を硬いものにぶつけない
- 画面を結露させない
- 画面をアルコールなどの溶剤などでふかない
- 画面を強くこすらない

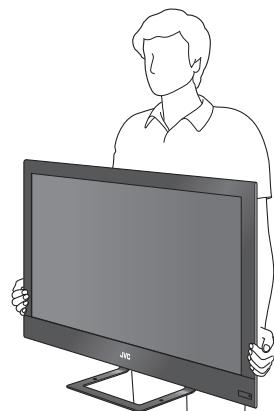
画面のよごれを取り除く場合には、柔らかい布またはクリーニングクロスを使ってからぶき・かたく絞った水ぶき・薄めた中性洗剤でかたく絞った水ぶきを行なってください。

キャビネットのよごれは

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。
キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

- シンナーやベンジンでふかない
- 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ゴムやビニール製品など長時間接触させたままにしない

持ち運ぶときは

本機を持ち運ぶときは、図のように本体の両側面を持ってください。

目次

安全上のご注意 ii

設置／接続 04

付属品 04

スピーカーの取り付け 05

設置について 05

外部機器の接続 06

AC アダプターと電源コードの接続 08

初期設定 08

各部の働き 09

HDMI 機器を操作する. 11

設定を変える. 12

映像 13

音声 25

セットアップ 27

HDMI 34

SD カードや USB 機器の写真を見る 36

外部制御の使いかた 40

困ったときは. 44

仕様 46

保証とアフターサービス. 54

索引 56

テクニカルインフォメーション

目的に合わせて設定しよう A-2

PC を快適に使おう A-10

デジタル一眼レフカメラの写真を見よう A-11

目的別設定一覧 A-12

映像／音声の調整のしかたを目的別に検索でき、詳しい説明が記載されているページをかんたんに調べられます。

設置／接続

付属品

● 本体（モニター）

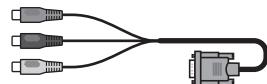
● スタンド

● ベサブラケット

● ネジ（M4×8）× 4
（スタンド用／ベサブラケット用）

● ネジ（M3×12）× 1
（HDMI ベースカバー用）

● リモコン、単４形電池× 2
（動作確認用）

● D-Sub 15 ピン –RCA 変換ケーブル

● ミニプラグ –RCA 変換ケーブル

● RS-232C 変換ケーブル

● D-Sub 15 ピン変換ケーブル

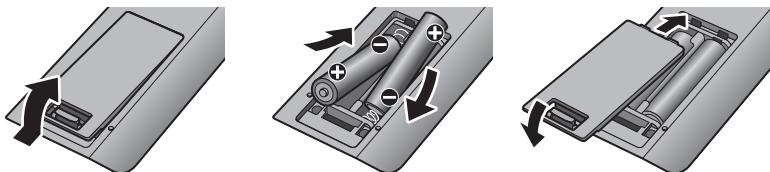
● 電源コード

● AC アダプター

● 転倒防止用バンド、
ネジ（M3×7）× 1

● HDMI ベースカバー、電源ベースカバー、D-Sub ベースカバー、フックカバー× 2、ボトムカバー× 2

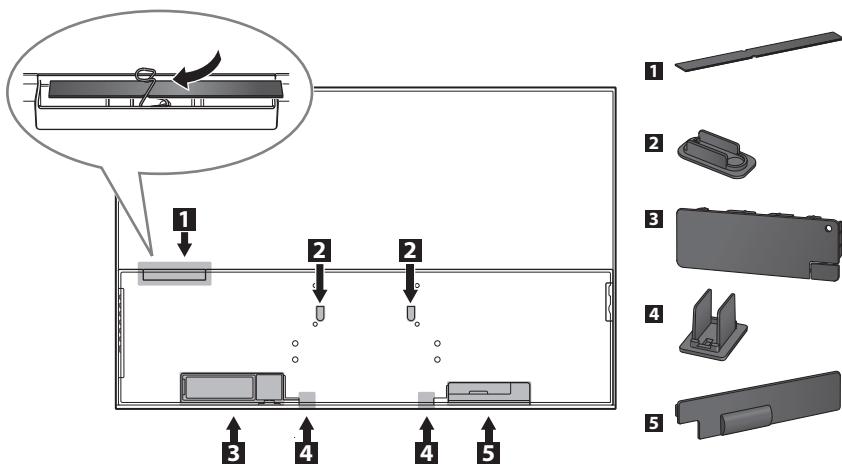
● 取扱説明書（本書）、スタートアップシート、保証書、その他の印刷物

リモコンの電池を入れるときは

● 電池は直射日光のあたるところや火のそばなど、高温になるところには置かないでください。

● 電池に表示されている注意事項をお読みください。

● 電池は普通の使いかたで、約６か月から１年使えます。付属の電池は動作確認用です。

端子カバー類の取り付け

- HDMI ベースカバー（3）と電源ベースカバー（5）は、接続後に取り付けてください。HDMI ベースカバーは付属のネジで固定してください。HDMI ケーブルを後方に引き出したいときは、HDMI ベースカバーの右下を折りとってください。
- D-Sub ベースカバー（1）、フックカバー（2）、ボトムカバー（4）は、それぞれの開口部を使用しないときに取り付けてください。

スピーカー（別売り）の取り付け

音声出力用の外部オーディオ機器を使わない場合は、専用スピーカーユニット（TS-C32SPG：別売り）を本機に接続してください。

- 専用スピーカーユニットを接続する際は、本機の音量を最小にした後、本機の電源を切ってから作業してください。
- 詳細はスタートアップシートをご覧ください。

設置について

ii ～ viii ページをよくお読みのうえ、正しく設置してください。

- 付属のスタンドを取り付けると、モニターを自立させることができます。詳細はスタートアップシートをご覧ください。
- 壁に掛けて使用するときは、必ず付属のベサブラケットを本機にネジ（付属）で取り付けてください。詳細はスタートアップシートをご覧ください。設置の際は必ず専門業者に作業を依頼してください。

外部機器の接続

コンポーネント端子のある機器

a
A
b
B
ϕ 3.5mm ステレオ
ミニプラグ

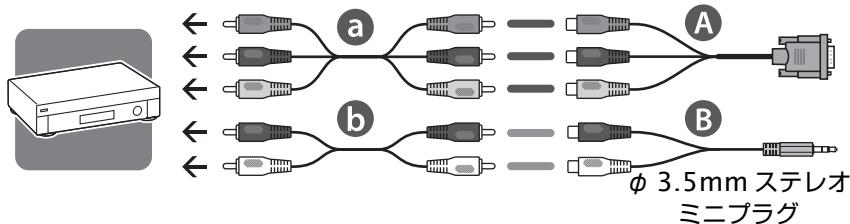
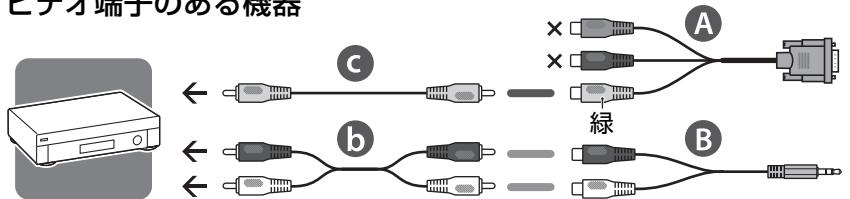
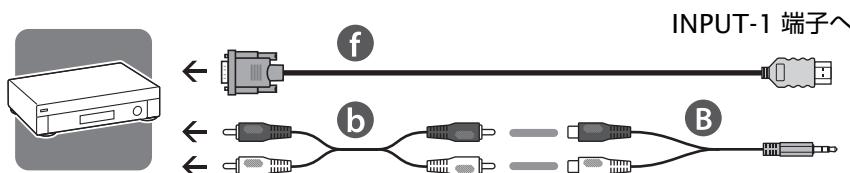
ビデオ端子のある機器

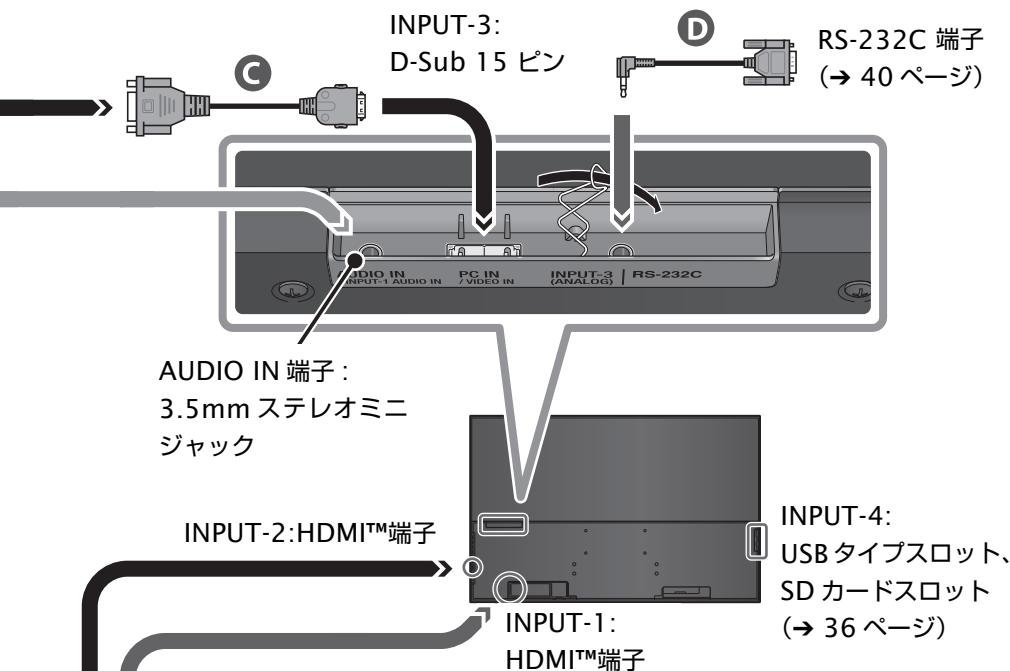
A
×
×
c
緑
b
B

コンピューター

d
e

DVI 機器

INPUT-1 端子へ
f
b
B

HDMI 機器

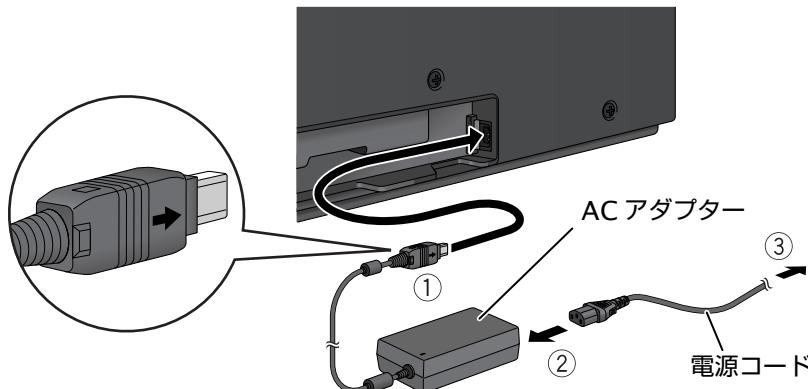
● HDMI ™（V. 1.3、Deep Color 対応、x.v.Color ™対応、CEC 対応）

A: D-Sub 15 ピン –RCA 変換ケーブル（付属）
B: ミニプラグ –RCA 変換ケーブル（付属）
C: D-Sub 15 ピン変換ケーブル（付属）
D: RS-232C 変換ケーブル（付属）
a: コンポーネントケーブル（別売り）
b: 音声ケーブル（別売り）
c: ビデオケーブル（別売り）
d: VGA ケーブル（別売り）
e: 音声ケーブル（別売り）
f: DVI/HDMI 変換ケーブル（別売り）
g: HDMI ケーブル（別売り）

● INPUT-3 端子を使用するときは、「Input-3 設定」（➔ 31 ページ）で接続機器を設定してください。

● ノイズを抑えるため、VGA ケーブルはコア付きのものをおすすめします。

● DVI 機器を INPUT-2 端子に接続した場合は、映像を見ることはできますが、音声を聞くことはできません。

AC アダプターと電源コードの接続

● 必ず「1 → 2 → 3」の順番で接続してください。

● 電源コードから出ているアースを建物に備えられているアース端子につないでください。

初期設定

初めて電源を入れたときは、お買い上げ設定画面が表示されます。メニューの言語と本機の設置場所を設定してください。

1 言語を選ぶ

1-1「メニュー言語」を選んで [OK] ボタンを押す

1-2 一覧から [▲▼] ボタンで言語を選び、[OK] ボタンを押す

1-3「設定」を選んで [OK] ボタンを押す

2 設置場所を選ぶ

2-1「設置場所」を選んで [OK] ボタンを押す

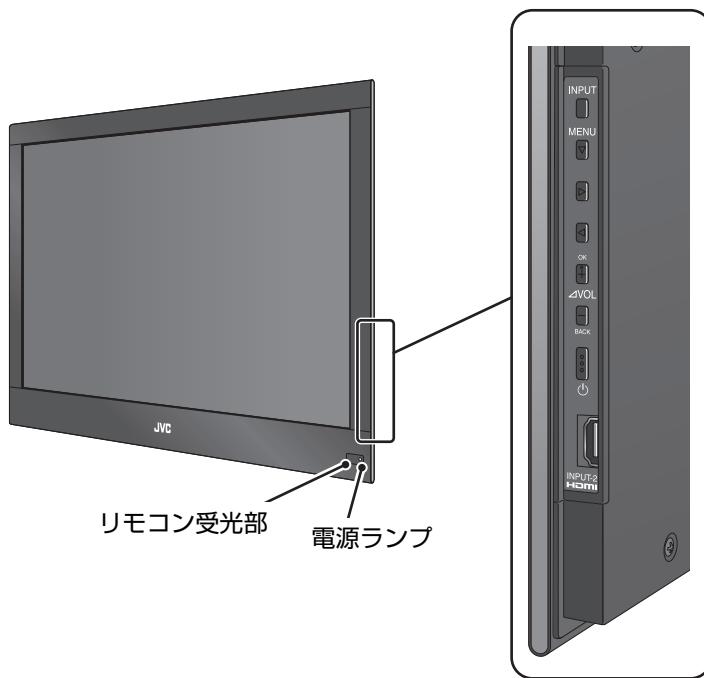
2-2 [▲▼] ボタンで設置場所を選び、[OK] ボタンを押す

2-3「設定」を選んで [OK] ボタンを押す

● 手順 2 でどちらの設置場所を選択しても、設定や機能は変わりません。

● 手順 1-1 と 2-1 では、[◀▶] ボタンで選択を切り換えることもできます。

各部の働き

本体

電源ランプ	電源が入っているときに点灯します。
リモコン受光部	リモコンはここに向けて操作してください。

⏻	電源を入／切します。
INPUT	入力を切り換えます。
MENU ▾	設定メニューを開きます。メニューでは▼ボタンとして働きます。
◂ ▸	メニューで左右カーソルキーとして働きます。
+ OK	音量を上げます。メニューではOKボタンとして働きます。
– BACK	音量を下げます。メニューでは BACK ボタンとして働きます。

リモコン

POWER	電源を入／切します。
LINK	HDMI CEC 機器側の操作ウィンドウを開きます。(➔ 11 ページ)
OPTION	HDMI CEC 機器側の設定ウィンドウを開きます。
MENU	設定メニューを開きます。(➔ 12 ページ)
EXIT	メニューを終了します。
▲▼◀▶ (カーソルキー)	項目を選択します。
OK	選択を決定します。
BACK	１つ前の画面に戻ります。
ZOOM	画面サイズを設定します。(➔ 28 ページ)
BLUE	画面の操作ガイドに従って押してください。
RED	
GREEN	
YELLOW	
VOL +/-	音量を調節します。
(消音)	音を消します。
INPUT 1 ～ 4	入力を切り換えます。

● ここに説明のないボタンは本機では使用しません。

HDMI 機器を操作する

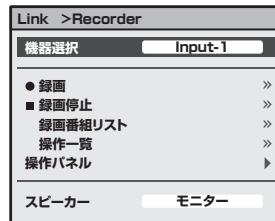
接続した HDMI CEC 対応機器を本機から操作できます。

- 「HDMI」（➔ 34 ページ）で操作の詳細を設定できます。
- 接続される機器のメーカーおよび機種によっては、動作しないものや、動作が異なるものがあります。

1 [LINK] ボタンを押す

操作ウインドウが表示されます。

2 操作したい機器を選ぶ

「機器選択」から操作したい機器名を選んでください。

3 選択した HDMI 機器を操作する

- 「録画」：録画を開始します。
- 「録画停止」：録画を停止します。
- 「録画番組リスト」：HDMI 機器の再生ナビを表示させます。
- 「操作一覧」：HDMI 機器の操作メニューを表示させます。
- 「操作パネル」：操作パネルを表示させます。

音声の出力先を設定する

HDMI CEC 対応アンプを本機に接続している場合、音声の出力先として、本機とアンプのどちらかを選ぶことができます。

- 音声をアンプから出力するには、「アンプ制御」（➔ 35 ページ）を「入り」に設定しておいてください。また、再生機器の音声出力をアンプに接続してください。

1 [LINK] ボタンを押す

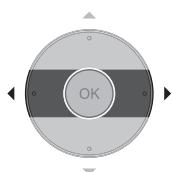
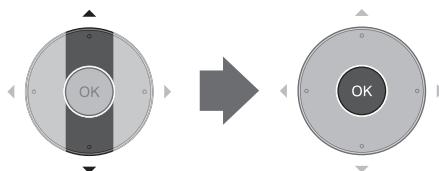
2 「スピーカー」から「モニター」または「アンプ」を選ぶ

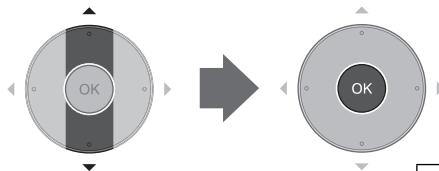
- 「モニター」：専用スピーカー接続時に本機から音声が出力されます。本機の音量ボタンを押すと、本機の音量が調節されます。
- 「アンプ」：アンプから音声が出力されます。本機の音量ボタンを押すと、アンプの音量が調節されます。

設定を変える

例：「色温度」の設定を変更する

1 メニューを開く

2「映像」を選ぶ

3「色温度」を選ぶ

● 現在選んでいる項目はオレンジ色で表示されます。

4 使用する設定を選ぶ

● 調整画面が表示される項目の場合は、[◀ ▶] ボタンで調節します。

5 設定を終了する

テクニカル インフォメーション

目的に合わせて設定しよう　A-2
PC を快適に使おう　A-10
デジタル一眼レフカメラの写真を見よう　A-11
目的別設定一覧　A-12

Show Your True Colors.

目的に合わせて設定しよう

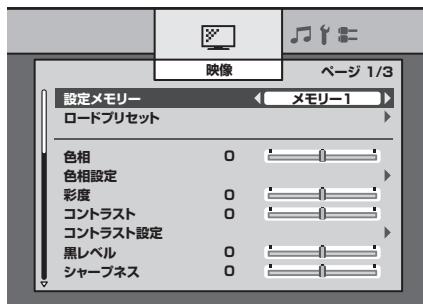
「映像」メニューを使って、さまざまな目的に合わせた映像設定を作ることができます。

- 調節した設定値を最大6つまで「設定メモリー」に保存することができます。
- ロードしたプリセットはそのままでもお使いいただけます。また、プリセットをもとにお好みの設定を作り上げることも可能です。

おすすめのプリセットを使う

1 メニューを開く

2 「映像」の「設定メモリー」から、一つを選ぶ

- 「設定メモリー」から一つを選ぶと、その設定内容が画像に適用されます。

3 「ロードプリセット」を選んで、プリセットから一つを選び、「ロード」を押す

- 各おすすめ設定の内容については、A-4 ページをご覧ください。
- 工場出荷時の「設定メモリー」は、6つすべてが「モニター」に設定されています。

本機には豊富な映像調節メニューが搭載されています。
また、視聴環境や映像コンテンツの種類に合わせたおすすめの設定内容（プリセット）が 10 種類用意されています。
「映像」メニューを使いこなして、自分だけの映像設定を作り上げてください。

自分好みに設定する

プリセットをもとに、自分だけの映像設定を作り上げることができます。目的に合わせて複数の映像設定を保存しておけば、視聴環境や使用目的に合わせて適切な映像設定を簡単に呼び出すことができます。

1 メニューを開く

2 「映像」の「設定メモリー」から、調整したいメモリーを選ぶ

3 「映像」の各項目を調節する

➔ 14 ページ以降の各項目の解説をご覧ください。

- 「スタンダード」をもとに調節することをおすすめします。
- 変更内容は変更と同時に現在のメモリーに保存されていきます。
- 別の映像設定を作るには、手順 2 で別のメモリーを選び、調節を行なってください。

調節をリセットするには

映像調節をやり直すには、いずれかのプリセットをリセットしたいメモリーに読み込んでください。それまでの調節内容が上書きされ、プリセットの設定内容に戻ります。

1　メニューを開く

2　「映像」の「設定メモリー」から、設定を破棄したいメモリーを選ぶ

3　「ロードプリセット」を選んで、プリセットから一つを選び、「ロード」を押す

●各プリセットの特徴

ダイナミック

明るい部屋で見るときに適した、
鮮やかで明るい設定です。

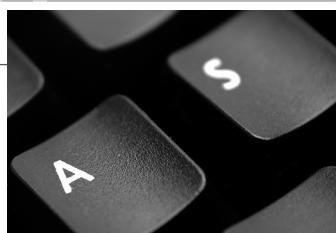
スタンダード

標準的な設定です。

シアター

暗い部屋で見るときに適した、
映画鑑賞向けの設定です。

モニター

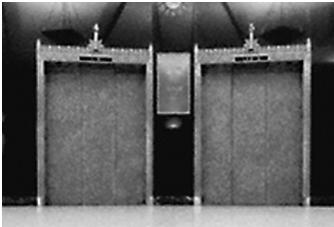
色補正やノイズリダクションをかけずに、入力された映像をそのまま表示させます。モニターとして使うのに適した設定です。

フォト プロ

デジタル一眼レフカメラの写真などの鑑賞に適した設定です。

ゲーム

映像の遅延を抑えた、テレビゲームに適した設定です。

Signage

サイネージ用に適した設定です。

CCTV HD

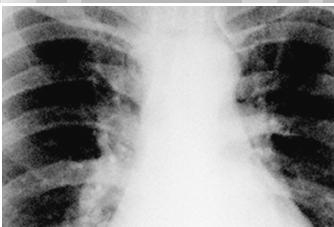
HD フォーマットの監視用カメラのモニターに適した設定です。

CCTV SD

SD フォーマットの監視用カメラのモニターに適した設定です。

Option

レントゲンなどの医療用画像の表示に適した設定です。

- この設定は簡易的なものであり、正規の医療規格を満たすものではありません。

➔ 各プリセットの詳細な内容については、次ページ以降をご覧ください。

●各プリセットの設定一覧

● 設定内容は改善のため変更されることがあります。

	ダイナミック	スタンダード	シアター	モニター
色相	0	0	0	0
色相設定				
BY ゲイン	0	0	0	0
BY/RY アングル	0	+2	+3	0
彩度	+8	+4	+2	0
コントラスト	+3	0	0	0
コントラスト設定				
黒伸張	強い	標準	切り	切り
ダイナミック DC オフセット	入り	入り	入り	切り
オートコントラスト	入り	切り	切り	切り
黒レベル	0	0	+2	0
シャープネス	+10	0	0	–30
エンハンサー	モード -2	モード -2	モード -3	モード -3
エンハンサー設定				
ディテール	0	–5	0	0
Hシャープネス	+10	+5	+10	0
V シャープネス	+10	+5	+5	0
バックライト	+30	+5	–5	0
バックライト設定				
スマートピクチャー	切り	入り	入り	切り
ダイナミック バックライト	強い	標準	弱い	切り
カラーシステム	自動	自動	自動	自動
カラーマトリクス	自動	自動	自動	自動
カラースペース	自動	自動	ノーマル	ノーマル
色温度	モード -2	モード -3	モード -5	モード -5

フォト プロ	ゲーム	Signage	CCTV HD	CCTV SD	Option
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	+5	+8	+14	0
0	0	0	+4	+5	0
切り	切り	標準	強い	強い	切り
切り	切り	切り	切り	切り	切り
切り	切り	入り	入り	入り	切り
0	0	0	0	-4	+2
0	-15	-10	20	20	-30
モード-3	モード-3	モード-3	モード-1	モード-1	モード-3
-15	0	0	0	0	0
-5	0	0	0	+5	0
-15	0	-15	0	-5	0
+5	+10	+30	+30	+30	+18
切り	入り	切り	切り	切り	切り
切り	切り	標準	標準	標準	切り
自動	自動	自動	自動	自動	自動
自動	自動	自動	自動	自動	自動
sRGB	自動	ワイド	ワイド	ワイド	ノーマル
モード-5	モード-2	モード-2	モード-3	モード-3	モード-4

	ダイナミック	スタンダード	シアター	モニター	
白バランス設定					
R ドライブ / G ドライブ / B ドライブ	0	0	0	0	
R オフセット / G オフセット / B オフセット	0	0	0	0	
カラーマネージメント	モード -1	モード -2	モード -3	切り	
カラーマネージメント設定					
赤色色相 / 赤色彩度	0	0	0	0	
黄色色相 / 黄色彩度	0	0	0	0	
緑色色相 / 緑色彩度	0	0	0	0	
水色色相 / 水色彩度	0	0	0	0	
肌色色相 / 肌色彩度	0	0	0	0	
明部：彩度	0	0	0	0	
暗部：彩度	0	0	0	0	
ガンマ	モード -2	モード -2	モード -3	モード -3	
ダイナミックガンマ	強い	標準	弱い	切り	
ノイズリダクション					
デジタル VNR	自動	自動	自動	切り	
MPEG NR	弱い	弱い	弱い	切り	
3DY/C	入り	入り	入り	切り	
ナチュラルシネマ	自動	自動	自動	切り	
高画質補正レベル	高	高	高	高	
PC モニターモード	切り	切り	切り	切り	
エコセンサー	切り	切り	切り	切り	
その他					
リアルビットドライバー	入り	入り	入り	切り	
倍速	入り	入り	入り	切り	

	フォト プロ	ゲーム	Signage	CCTV HD	CCTV SD	Option
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	切り	モード -2	モード -1	モード -2	モード -1	切り
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	モード -3	モード -2	モード -3	モード -4	モード -2	モード -6
	切り	標準	標準	標準	強い	切り
	自動	自動	自動	自動	自動	切り
	切り	弱い	弱い	弱い	弱い	切り
	入り	入り	入り	入り	入り	切り
	切り	切り	切り	切り	切り	切り
	高	中	高	高	高	低
	切り	切り	切り	切り	切り	切り
	切り	切り	切り	切り	切り	切り
	入り	入り	入り	入り	入り	切り
	切り	入り	切り	入り	入り	切り

PC を快適に使おう

入力信号の設定

INPUT-3 端子にコンピューターを接続するときは、入力信号の種類を適切に設定してください。

●VGA60、XGA60 の信号を入力しているとき

「サンプリングモード」を「標準」に設定してください。（➔ 32 ページ）

●WVGA60 の信号を入力しているとき

「サンプリングモード」を「ワイド」に設定してください。（➔ 32 ページ）

●WXGA（1280）、WXGA（1360）、WXGA60 の信号を入力しているとき

1　「サンプリングモード」を「ワイド」に設定してください。（➔ 32 ページ）

2　「WXGA 選択」を以下のように設定してください。（➔ 32 ページ）

- WXGA（1280）の場合：「1280*768」
- WXGA（1360）の場合：「1360*768」
- WXGA60 の場合：「1366*768」

●SXGA60 の信号を入力しているとき

「SXGA / SXGA+」を「SXGA」に設定してください。（➔ 32 ページ）

●SXGA+60 の信号を入力しているとき

「SXGA / SXGA+」を「SXGA+」に設定してください。（➔ 32 ページ）

画面が縦に波打ったり、文字がにじんだりするときは

アスペクトを「1：1」にして、「ドットクロック」および「クロックフェーズ」を調節してください。（➔ 33 ページ）

- 1920 × 1080 信号を入力している場合は、アスペクトを「フル」にして、同様の調節を行なってください。

映像の一部が欠けたり、映像エリア外の部分が見えているときは

1. アスペクトを「フル」にしてください。
2. 画面の左上隅に映像の左上隅が合うように、「PC 画面位置の調節」で位置を調節してください。
3. 画面の右下隅に映像の右下隅が合うように、「H サイズ」および「V サイズ」で映像の大きさを設定してください。

デジタル一眼レフカメラの写真を見よう

「設定メモリー」を「Photo Pro」にプリセットしていただくと、写真を撮影状態そのままに再現してご覧いただけます。

また、SD カードや USB 機器に入れた写真を表示させることもできます。（➔ 36 ページ）

JPEG 画像を見るときは、撮影時のカメラの設定に合わせて「カラースペース」（➔ 18 ページ）を「sRGB」または「AdobeRGB」に正しく設定することで、撮影時の情報により忠実な色で表示させることができます。

- 「Photo Pro」は初期設定のままお使いになることをお勧めします。「Photo Pro」の初期設定では、「カラースペース」は「sRGB」に設定されています。

目的別設定一覧

			ページ
色あいを調整する	全体の色あいを調整する	色相	14
	画面の色調を変える（白を含む）	色温度	19
	画面の色調を微調整する	白バランス設定	19
	色の再現範囲を切り換える	カラースペース	18
	色差信号の復調比を調節する	色相設定 › BY ゲイン	14
	色差信号の復調角を調節する	色相設定 › BY/RY アングル	14
	色の補正量のパターンを選択する	カラーマネージメント	20
	色の補正量を微調整する	カラーマネージメント設定 › 赤色色相、黄色色相など	20
色の濃さを調整する	画面全体の色の濃さを調整する	彩度	14
	色差信号の復調比を調節する	色相設定 › BY ゲイン	14
	色差信号の復調角を調節する	色相設定 › BY/RY アングル	14
	色の補正量のパターンを選択する	カラーマネージメント	20
	色の補正量を微調整する	カラーマネージメント設定 › 赤色彩度、黄色彩度など	20
バックライトで明るさを調整する	画面全体の明るさを調整する	バックライト	16
	明るいシーンのみバックライトの光量を抑える	バックライト設定 › スマートピクチャー	17
	暗いシーンのみバックライトの光量を抑える	バックライト設定 › ダイナミックバックライト	17
	部屋の明るさに合わせて画面の明るさを変える	エコセンサー	24
信号で明るさを調整する	画面全体の明るさを調整する	黒レベル	15
	信号レベルのゲインを変える	コントラスト	15
	暗部の明るさのみ変える	コントラスト設定 › 黒伸張	15
	明るいシーンでの明るさを変える	コントラスト設定 › ダイナミック DC オフセット	15
	シーンに合わせて明るさを変える	コントラスト設定 › オートコントラスト	15
	基準となるガンマを変える	ガンマ	21
	シーンに合わせてガンマを補正する	ダイナミックガンマ	21
輪郭強調	輪郭強調の度合いを変える	シャープネス	16
	輪郭強調の度合いを微調整する	エンハンサー設定	16
	強調する帯域を変える	エンハンサー	16
音質を調整する	低音域を調整する	低音	25
	高音域を調整する	高音	25
	専用スピーカーに合わせた音質にする	PEQ	26
	映像と音声のずれを調整する	リップシンク	25

映像

設定メモリー

「映像」の設定内容を６セットまで保存して、呼び出すことができます。

● 入力を切り換えると、その入力で前回使用していたセットが自動的に選択されます。

■ **メモリー 1 / メモリー 2 / メモリー 3 / メモリー 4 / メモリー 5 / メモリー 6**

ロードプリセット

あらかじめ用意されたおすすめの映像設定を読み込むことができます。
読み込んだ設定をもとに、さらに調節を加えることも可能です。

● 設定を選んで「ロード」を押してください。設定が読み込まれます。

■ **ダイナミック**：明るい部屋で見るときに適した、鮮やかで明るい設定です。

■ **スタンダード**：標準的な設定です。

■ **シアター**：暗い部屋で見るときに適した、映画鑑賞向けの設定です。

■ **モニター**：色補正やノイズリダクションなどをかけない設定です。入力された映像をそのままで表示させたいときに適した設定です。

■ **フォト プロ**：デジタル一眼レフカメラの写真などの鑑賞に適した設定です。

■ **ゲーム**：映像の遅延を抑えた、テレビゲームに適した設定です。

■ **Signage**：サイネージ用に適した設定です。

■ **CCTV HD**：HD フォーマットの監視用カメラのモニターに適した設定です。

■ **CCTV SD**：SD フォーマットの監視用カメラのモニターに適した設定です。

■ **Option**：レントゲンなどの医療用画像の表示に適した設定です。

● この設定は簡易的なものであり、正規の医療用規格を満たすものではありません。

色相

色合いを調節します。

■ **–30 〜 +30**（肌色赤っぽく ↔ 肌色緑っぽく）

色相設定

色合いに関する詳細設定を行います。

● 「カラースペース」を「sRGB」、「AdobeRGB」または「x.v.Color」に設定しているときは、0 に固定され、調節できません。

● 「カラースペース」を「自動」に設定していて、HDMI 端子に xvYCC 信号を入力しているときは、0 に固定され、調節できません。

● 「PC モニターモード」を「入り」に設定しているときは、0 に固定され、調節できません。

◆BY ゲイン

B-Y 色差信号の振幅を調節します。映像全体の色調が変化します。

■ **–30 〜 +30**（振幅小 ↔ 振幅大）

◆BY/RY アングル

B-Y 色差信号と R-Y 色差信号の角度（復調角）を調節します。映像全体の色調が変化します。

■ **–15 〜 +15**（角度小 ↔ 角度大）

彩度

色の濃さを調節します。

■ **–30 〜 +30**（薄い ↔ 濃い）

コントラスト

画面の明るい部分のレベルを調節します。

■ **–30 ～ +30**（暗い ↔ 明るい）

コントラスト設定

コントラストに関する機能を設定します。

- 「カラースペース」を「sRGB」または「AdobeRGB」に設定しているときは、これらの機能は使えません。
- 「PC モニターモード」を「入り」に設定しているときは、これらの機能は使えません。

◆黒伸張

映像に合わせて暗部を強調し、明暗の差をはっきりさせます。

■ **強い / 標準 / 弱い / 切り**

◆ダイナミック DC オフセット

画面全体の明るさに応じて映像の黒レベルを自動で調節します。

■ **入り / 切り**

◆オートコントラスト

映像に合わせて明部を強調し、明暗の差をはっきりさせます。

■ **入り / 切り**

黒レベル

黒レベルを調節します。

■ **–30 ～ +30**（暗い ↔ 明るい）

シャープネス

画像の輪郭を強調します。

●「エンハンサー」を「切り」に設定しているときは調節できません。

■ **–30 ～ +30**（やわらか ↔ シャープ）

エンハンサー

「シャープネス」で強調する周波数帯域を選択します。

■ **切り**：機能を使いません。

■ **モード -1 / モード -2 / モード -3**

（低周波数帯域を強調（低解像度の映像向き）↔ 高周波数帯域を強調（高解像度の映像向き））

エンハンサー設定

「エンハンサー」の効果を詳細に設定することができます。

●「エンハンサー」を「切り」に設定しているときは、調節できません。

◆ディテール

テクスチャ部分の描写を調節します。

■ **–15 ～ +15**（弱める ↔ 強める）

◆Hシャープネス

水平方向の輪郭描写を調節します。

■ **–15 ～ +15**（弱める ↔ 強める）

◆V シャープネス

垂直方向の輪郭描写を調節します。

■ **–15 ～ +15**（弱める ↔ 強める）

バックライト

バックライトの明るさを調節します。

■ **–30 ～ +30**（暗い ↔ 明るい）

バックライト設定

バックライトに関する機能を設定します。

◆スマートピクチャー

明るいシーンでまぶしさを抑えます。

■ **入り / 切り**

◆ダイナミックバックライト

暗いシーンでコントラストを高めます。

■ **強い / 標準 / 弱い / 切り**

カラーシステム

INPUT-3 入力にコンポジット端子から入力される映像信号のカラーシステムを設定します。

- 「Input-3 設定」（➔ 31 ページ）を「コンポジット」に設定しているときのみ、設定できます。
- 「PC モニターモード」を「入り」に設定しているときは、設定できません。

■ **自動**：入力信号に合わせて自動的に適切なカラーシステムが適用されます。通常はこれを選んでください。

■ **PAL/50**：カラーシステムが通常の PAL の場合。

■ **PAL/60**：カラーシステムが PAL60 の場合。

■ **SECAM**：カラーシステムが SECAM の場合。

■ **NTSC 3.58**：カラーシステムが NTSC 3.58 の場合。

■ **NTSC 4.43**：カラーシステムが NTSC 4.43 の場合。

■ **PAL M**：カラーシステムが PAL-M の場合。

■ **PAL N**：カラーシステムが PAL-N の場合。

カラーマトリクス

色変換に使用するカラーマトリクスを設定します。

- ●「カラースペース」を「sRGB」、「AdobeRGB」または「x.v.Color」に設定しているときは、「自動」に固定され、変更できません。
- ●「PC モニターモード」を「入り」に設定しているときは、「自動」に固定され、変更できません。
- ●「カラースペース」を「自動」に設定していて、HDMI 端子に xvYCC 信号を入力しているときは、「自動」に固定され、変更できません。

■ **自動**：自動的に適切なカラーマトリクスを使用します。

■ **709**：ITU-R BT.709 に準じたカラーマトリクスで変換します。

■ **601**：ITU-R BT.601 に準じたカラーマトリクスで変換します。

カラースペース

色の再現範囲を変更します。

- ●「PC モニターモード」を「入り」に設定しているときは、「sRGB」または「AdobeRGB」のみ選択できます。
- ●「自動」に設定した場合でも、接続機器や接続状況によっては自動的に「x.v.Color」に切り換わらないことがあります。

■ **自動**：通常は「ワイド」を適用します。HDMI 端子に xvYCC 信号を入力しているときは、自動的に「x.v.Color」を適用します。また、フォトビューアーのときは、自動的に「ノーマル」を適用します。

■ **ノーマル**：HD 規格の色域で表示します。

■ **ワイド**：パネルの表示色域全体を使って鮮やかに表示します。（HD 規格の色域よりも広く表示されます。）

■ **x.v.Color**：x.v.Color に適した色域で表示します。

■ **sRGB**：sRGB に適した色域で表示します。

■ **AdobeRGB**：AdobeRGB に適した色域で表示します。

色温度

色温度（画面の色調）を設定します。色温度が高いほど、画面は青みがかって見えます。

- 「カラースペース」を「sRGB」または「AdobeRGB」に設定しているときは、「モード -5」に固定され、変更できません。
- 「PC モニターモード」を「入り」に設定しているときは、「モード -5」に固定され、変更できません。

■ **モード -1**: 青みの強い設定です。（約 13000 K）
■ **モード -2**: やや青みの強い設定です。（約 11000 K）
■ **モード -3**: 一般用途に適した設定です。（約 9300 K）
■ **モード -4**: 医療画像の参照に適した設定です。（約 8000 K）
■ **モード -5**: 標準的な設定です。（約 6500 K）
■ **モード -6**: 印刷画像の確認に適した設定です。（約 5000 K）
■ **モード -7**: スタジオ特殊用途に適した赤みがかった設定です。（約 3200 K）

白バランス設定

色温度に関する詳細な設定を行います。赤、緑、青の階調の微調節ができます。

- 「色温度」の設定を変更してもこれらの設定値は変化しません。

◆R ドライブ / G ドライブ / B ドライブ

明るい部分の赤／緑／青の強さを調節します。

■ **–30 ～ +30**（弱める ↔ 強める）

◆R オフセット / G オフセット / B オフセット

暗い部分の赤／緑／青の強さを調節します。

■ **–30 ～ +30**（弱める ↔ 強める）

カラーマネージメント

画面の全体的な色彩を調節する機能です。さまざまな色温度に適したカラーマネージメント設定が、あらかじめ 3 種類用意されています。

- 「カラースペース」を「sRGB」、「AdobeRGB」または「x.v.Color」に設定しているときは、「切り」に固定され、変更できません。
- 「PC モニターモード」を「入り」に設定しているときは、「切り」に固定され、変更できません。
- 「カラースペース」を「自動」に設定していて、HDMI 端子に xvYCC 信号を入力しているときは、「切り」に固定され、変更できません。

- ■ **モード -1**：高い色温度に適した、鮮やかさを重視した色彩設定です。
- ■ **モード -2**：中間の色温度に適した、標準的な色彩設定です。
- ■ **モード -3**：低い色温度に適した、色合いを重視した色彩設定です。
- ■ **切り**：機能を使いません。

カラーマネージメント設定

カラーマネージメントの詳細な設定を行います。

- 「カラーマネージメント」を「切り」に設定しているときは、全ての項目が 0 に固定され、調節できません。
- 「カラースペース」を「sRGB」、「AdobeRGB」または「x.v.Color」に設定しているときは、全ての項目が 0 に固定され、調節できません。
- 「PC モニターモード」を「入り」に設定しているときは、全ての項目が 0 に固定され、調節できません。
- 「カラースペース」を「自動」に設定していて、HDMI 端子に xvYCC 信号を入力しているときは、全ての項目が 0 に固定され、調節できません。

◆赤色色相 / 赤色彩度

赤系の色合い／色の濃さを調節します。

■ **–15 ～ +15**（マゼンタ ↔ イエロー）**/ –30 ～ +30**（薄い ↔ 濃い）

◆黄色色相 / 黄色彩度

黄系の色合い／色の濃さを調節します。

■ **–15 ～ +15**（レッド ↔ グリーン）**/ –30 ～ +30**（薄い ↔ 濃い）

◆緑色色相 / 緑色彩度

緑系の色合い／色の濃さを調節します。

■ **–15 ～ +15**（イエロー ↔ シアン）**/ –30 ～ +30**（薄い ↔ 濃い）

◆水色色相 / 水色彩度

シアン系の色合い／色の濃さを調節します。

■ **–15 ～ +15**（グリーン ↔ ブルー）**/ –30 ～ +30**（薄い ↔ 濃い）

◆肌色色相 / 肌色彩度

肌に近い色の色合い／色の濃さを調節します。

■ **–15 ～ +15**（レッド ↔ イエロー）**/ –30 ～ +30**（薄い ↔ 濃い）

◆明部：彩度

明るい部分の色の濃さを調節します。

■ **–15 ～ +15**（薄い ↔ 濃い）

◆暗部：彩度

暗い部分の色の濃さを調節します。

■ **–15 ～ +15**（薄い ↔ 濃い）

ガンマ

ガンマ補正値を調節します。中間部の明るさと階調変化を調節できます。

- ■ **モード -1**: 印刷画像の確認に適した設定です。（γ 1.8 相当）
- ■ **モード -2**: 一般用途に適した設定です。（γ 2.0 相当）
- ■ **モード -3**: 標準的な設定です。（γ 2.2 相当）
- ■ **モード -4**: CRT の特性に近い設定です。（γ 2.4 相当）
- ■ **モード -5**: デジタルシネマの鑑賞に適した設定です。（γ 2.6 相当）
- ■ **モード -6**: 医療画像の参照に適した設定です。GSDF（グレースケール標準関数）に準拠しています。
- ■ **モード -7**:「モード -3」より暗部の視認性を重視した設定です。

ダイナミックガンマ

映像の明るさに応じて自動的にガンマ補正を行う機能です。

■ **強い / 標準 / 弱い / 切り**

ノイズリダクション

ノイズ軽減の設定を行います。

- 「PC モニターモード」を「入り」に設定しているとき、および PC の信号フォーマットに対しては、これらの機能は使えません。

◆デジタル VNR

映像のノイズを軽減する機能です。

■ **自動**：ノイズの量を自動的に判別し、適切なノイズ軽減処理を行ないます。

■ **強い / 標準 / 弱い / 切り**

◆MPEG NR

MPEG 画像のノイズ（モスキートノイズやブロックノイズ）を軽減する機能です。

■ **強い / 弱い / 切り**

3DY/C

INPUT-3 のコンポジット端子に入力される映像信号に対して、動画／静止画を検出し、映像に適した Y/C 分離を行う機能です。

- 「高画質補正レベル」を「低」に設定しているときは、設定できません。
- 入力信号のフォーマットが NTSC 3.58、PAL/50、PAL M、PAL N 以外のときは、設定できません。

■ **入り / 切り**

ナチュラルシネマ

フィルム撮影された映画などの動きの速い部分を、くっきりした映像で表示する機能です。

- 「高画質補正レベル」を「低」に設定しているときは、「切り」に固定され、変更できません。
- 「PC モニターモード」を「入り」に設定しているときは、「切り」に固定され、変更できません。
- プログレッシブ映像が入力されているときは、「切り」に固定され、変更できません。

■ **自動 / 切り**

高画質補正レベル

高画質処理に要する映像遅延時間を変更します。高画質処理を省くと画質は落ちますが、映像の遅延時間は短くなります。

- 「PC モニターモード」を「入り」に設定しているときは、「低」に固定され、変更できません。

■ **高**：全画質処理を行います。画質優先の設定です。
■ **中**：画質処理を減らし、映像遅延時間を減らします。
■ **低**：画質処理を大幅に減らし、映像遅延時間をさらに減らします。

PC モニターモード

コンピューターのモニターとして使うのに適した操作モードにする機能です。

- モニターとして必要な設定項目のみが調整できるようになります。
- HDMI 入力の信号を PC 信号（R:G:B=4:4:4）と判断し、適切な画像処理を行います。

■ **入り / 切り**

エコセンサー

部屋の明るさに合わせてバックライトの明るさを調節することで、消費電力を抑える機能です。

- **画面表示**：機能を入にして、効果のレベルを画面に表示します。
- **入り**：機能を使います。効果のレベルは表示されません。
- **切り**：機能を使いません。

その他

◆リアルビットドライバー

8 bit 階調の入力信号に対して、8 bit よりも滑らかな階調表現を実現する機能です。

- 8 bit 階調以外の入力信号に対しても有効です。

■ **入り / 切り**

◆倍速

1 秒あたりに表示させるコマ数を通常の 2 倍にすることで、残像感を大幅に低減させる機能です。

- 「カラースペース」を「sRGB」または「AdobeRGB」に設定しているときは、「切り」に固定され、変更できません。
- 「高画質補正レベル」を「低」に設定しているときは、「切り」に固定され、変更できません。
- 「PC モニターモード」を「入り」に設定しているときは、「切り」に固定され、変更できません。

■ **入り / 切り**

音声

● 以下の設定は、専用スピーカーユニット（別売り）を接続したときのみ有効です。
● 以下の設定は、フォトビューアー（➔ 36 ページ）の使用中は変更できません。

低音

低音域を調節します。

■ **–6 ～ +6**（弱める ↔ 強める）

高音

高音域を調節します。

■ **–6 ～ +6**（弱める ↔ 強める）

バランス

音の左右のバランスを調節します。

■ **L10 ～ 10R**（左寄り ↔ 右寄り）

自動ボリュームコントロール

大きな音声信号が入力されたとき、自動的に音量を抑える機能です。

■ **入り / 切り**

リップシンク

映像に対する音声遅延量を調節する機能です。

■ **–3 ～ +3**（音声の開始を早める ↔ 音声の開始を遅らせる）

PEQ

専用スピーカーユニット（別売り）向けに音質を最適化する機能です。専用スピーカーユニットを使用するときは、「入り」に設定することで、音の高域・低域のバランスが良くなり聴きやすくなります。専用スピーカー以外のスピーカーを接続するときは、「切り」を選択してください。

● 「PEQ」は「Parametric Equalizer（パラメトリックイコライザー）」の略です。

■ **入り / 切り**

起動時音量

電源投入時の音量を設定します。

■ **0 ～ 50**

■ **現設定**：現在の音量を起動時の音量に設定します。

● 「音量制限」の設定値より大きな値に設定した場合は、「音量制限」の設定値で起動します。

● HDMI で接続されたアンプから出力される音声に対しては、この機能は働きません。

音量制限

音量の上限を設定して、必要以上の音量になるのを防ぐ機能です。

■ **0 ～ 50**

● HDMI で接続されたアンプから出力される音声に対しては、この機能は働きません。

標準に戻す

「音声」の各設定を初期状態に戻します。

メニュー言語

OSD で使用する言語を選択します。

■ **English (EU) / Deutsch / Français(UE) / Italiano / Español (UE) / Català / Nederlands / Dansk / Svenska / Norsk / Suomi / Polski / Magyar / Русский / Ελληνικά / Português / Česky / Български / Українська / Türkçe / Română / العربية / 繁體中文 / 中文 / فارسی / Bahasa Melayu / ไทย / Español (US) / Français(US) / English (US) /** 日本語

フロントパネルロック

本体ボタンでの操作を無効にする機能です。

■ **入り**：本体ボタンで操作できなくなります。

■ **切り**：本体ボタンでの操作が有効です。

● 「入り」に設定されているときでも、本体の⏻ボタンを 3 秒以上押し続けると、電源の入／切ができます。

● 「入り」に設定されているときでも、本体の MENU ボタンを 3 秒以上押し続けると、設定を「切り」にすることができます。

● 電源コードを一度抜いて、再度差し込むと、設定は「切り」に戻ります。

無信号オートオフ

無信号時に自動的に本機の電源を切る機能です。

■ **入り**：無信号かつ無操作の状態が 10 分間続くか、または、無操作の状態が 4 時間続くと、本機の電源が自動的に切れます。

■ **切り**：機能を使いません。

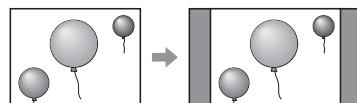
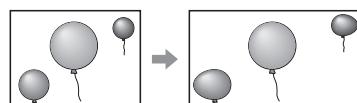
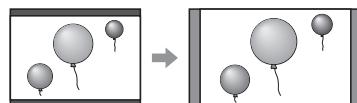
画面サイズ

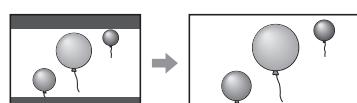
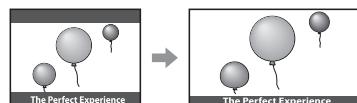
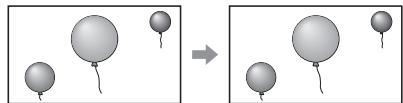
画面サイズを設定します。

● リモコンの ZOOM ボタンでも同様の設定が可能です。

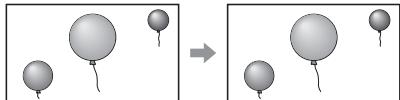
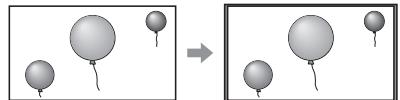
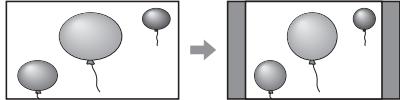
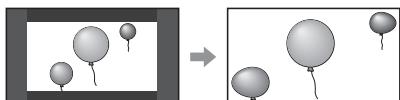
◆現在の入力が SD の信号のとき

■ **自動**：信号にアスペクト情報（WSS など）が含まれている場合は、その情報に従って、画面サイズが自動的に切り換わります。その他の場合は、「4：3 画面サイズ設定」（➔ 31 ページ）の設定値に応じて、「ノーマル」または「パノラマ」で表示されます。

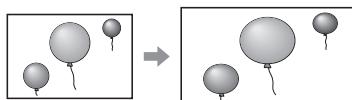
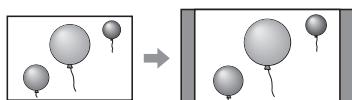
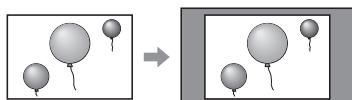
■ **ノーマル**：横長に拡大せず、そのまま表示します。左右に黒帯が表示されます。

■ **パノラマ**：不自然に見えないように横長の画面いっぱいに拡大します。

■ **14：9 ズーム**：14:9 番組を上下の黒帯が見えないように拡大します。左右に黒帯が表示されます。

● 映像フォーマットが 480i または 480p のときは、「14：9 ズーム」は選択できません。

■ **シネマ**：映画番組など上下に黒帯の入っている映像を、黒帯が見えないように拡大します。

■ **字幕パノラマ**：映画番組など上下に黒帯の入っている映像を、字幕が見えるように拡大します。

■ **フル**：映像を画面いっぱいに拡大します。

◆現在の入力が HD の信号のとき

● 「ピュア HD」は 1080i/p 信号のときのみ選択可能です。

■ **フル**：映像を画面いっぱいに拡大します。

■ **ピュア HD**：1080i/p 映像を拡大せずそのまま表示します。

■ **スリム**：横伸びした画面を横に縮めて映します。左右に黒帯が表示されます。

■ **パノラマズーム**：16:9 信号に 4:3 番組がはめ込まれて（両脇黒帯）、さらにその 4:3 映像に上下黒帯がついた映像を、不自然に見えないように横長の画面いっぱいに拡大します。

◆現在の入力がコンピューターからのとき

● 「ジャスト」と「1 ： 1」は入力信号の種類によっては選択できない場合があります。

■ **フル**：映像を画面いっぱいに拡大して表示します。

■ **ジャスト**：映像の縦横比を変えずに、画面最大に拡大して表示します。左右に黒帯が表示されます。

■ **1 ： 1**：映像を拡大せずに、そのまま表示します。上下左右に黒帯が表示されます。

画面位置の調節

画面内での映像の位置を上下左右に調節することができます。

- 上下方向の調節は、「画面サイズ」の設定が「14：9 ズーム」、「シネマ」、「パノラマ」、「字幕パノラマ」または「パノラマズーム」のときのみ可能です。
- 水平方向の調節は、「画面サイズ」の設定が「パノラマズーム」のときのみ可能です。
- コンピューター信号を入力している場合は、「PC 設定」の「PC 画面位置の調節」で調節してください。
- 電源を切ると調節値はリセットされます。
- 信号のフォーマットが変わると調節値はリセットされます。
- 信号のアスペクトが変わると調節値はリセットされます。

パワーインジケーター

電源ランプの動作を設定します。

■ **入り**：電源が入のとき、電源ランプが点灯します。

■ **切り**：電源ランプは点灯しません。

- 電源が入で入力信号がない場合は、この設定に関わらず、電源ランプは点灯します。

画面表示

バナーを表示させる機能です。

■ **入り / 切り**

- 入力信号がない場合は、この設定に関わらず、バナーが表示されます。
- 「切り」に設定されているときでも、入力を切り換えた後 4 秒間はバナーが表示されます。

外部入力の表示設定

入力名（「Input-1」～「Input-3」）のそれぞれについて、入力内容を示す名称を設定できます。

■ **（表示なし）/ VTR / DVD / Blu-ray / PVR / D-VHS / STB / SAT / AMP / GAME / CAM / DISC / PC**

4：3 画面サイズ設定

「画面サイズ」（➔ 28 ページ）を「自動」に設定したときの動作を設定します。アスペクトが 4:3 と判断された場合、およびアスペクトの自動判別ができなかった場合に、設定したアスペクトで表示されます。

■ **ノーマル**：「ノーマル」で表示します。

■ **パノラマ**：「パノラマ」で表示します。

HD 画面の既定画面サイズ

1080i/p の信号を受信したときのデフォルトの画面サイズを設定します。

■ **フル**：映像信号を画面いっぱいに引き延ばして表示します。

■ **ピュア HD**：100% スキャンで表示します。

Input-3 設定

INPUT-3 端子（D-sub 15 ピン）に入力する信号の種類を設定します。

● 信号の種類に応じて、付属の変換ケーブルおよび市販のケーブルを使用してください。（➔ 06 ページ）

■ **PC**：コンピューターの信号を入力する場合。

■ **コンポーネント**：コンポーネント信号を入力する場合。

■ **コンポジット**：コンポジット信号を入力する場合。

PC 設定

コンピューター信号に関する詳細な設定を行います。

- コンピューターの信号が入力されていないときは、「Hサイズ」、「Vサイズ」、「ドットクロック」、「クロックフェーズ」、「PC 画面位置の調節」および「自動画面位置調節」の設定はできません。
- INPUT-3 入力に対しては、「自動画面位置調節」の設定はできません。
- INPUT-1、INPUT-2 入力に対しては、「ドットクロック」および「クロックフェーズ」の設定はできません。

◆サンプリングモード

アナログ入力信号の画面サイズを選択します。

- ■**標準**：VGA60、XGA60 の信号を入力しているとき。
- ■**ワイド**：WVGA60、WXGA (1280)、WXGA (1360)、WXGA60 の信号を入力しているとき。

◆WXGA 選択

アナログ入力信号の画面サイズを選択します。

- ■**1280*768**：WXGA (1280) の信号を入力しているとき。
- ■**1360*768**：WXGA (1360) の信号を入力しているとき。
- ■**1366*768**：WXGA60 の信号を入力しているとき。

◆SXGA ／ SXGA+

アナログ入力信号の画面サイズを選択します。

- ■**SXGA**：SXGA60 の信号を入力しているとき。
- ■**SXGA+**：SXGA+60 の信号を入力しているとき。

◆Hサイズ

画面の横幅を調節します。

- ■**–20 ～ +20**（縮小 ↔ 拡大）

◆Vサイズ

画面の縦の長さを調節します。

- ■**–20 ～ +20**（縮小 ↔ 拡大）

◆ドットクロック

画面が縦に波打ったように見えるときに調節します。

● 調節値は電源を切っても保存されます。

■ –20 ～ +20

◆クロックフェーズ

画面に表示された文字がにじんだり、揺れて見えたりするときに調節します。

● 調節値は電源を切っても保存されます。

■ 0 ～ 31

◆PC 画面位置の調節

画面内の映像の位置がずれているときに、上下左右に調節することができます。

● 調節値は電源を切っても保存されます。

◆自動画面位置調節

画面内の映像の位置がずれているときに、自動的に調節する機能です。

◆標準に戻す

「PC 設定」の各設定を初期状態に戻します。

標準に戻す

「セットアップ」の各設定を初期状態に戻します。

HDMI

HDMI 機器制御

HDMI CEC 対応の外部機器を本機から操作できるようにする機能です。

■ する：HDMI CEC 機器を本機から制御できるようにします。

■ しない：HDMI CEC 機器の制御機能を使いません。

ワンタッチプレイ

HDMI CEC 対応の外部機器で再生ボタンを押すと、本機の電源が入り、本機の入力がその外部機器に切り換わる機能です。

● 「HDMI 機器制御」を「しない」に設定しているときは、「切り」に固定され、変更できません。

■ 入り / 切り

パワーオフリンク

本機の電源を切ると、HDMI CEC 対応の外部機器の電源も連動して切れる機能です。

● 「HDMI 機器制御」を「しない」に設定しているときは、「切り」に固定され、変更できません。

■ 入り / 切り

アンプ制御

HDMI CEC 対応のアンプを本機から操作できる機能です。

● 「HDMI 機器制御」を「しない」に設定しているときは、「切り」に固定され、変更できません。

■ **入り / 切り**

Input-1 音声入力

INPUT-1 入力の音声信号の種類を設定します。

■ **自動**：自動判別。

■ **デジタル**：HDMI 機器を接続しているとき。

■ **アナログ**：DVI 機器を接続しているとき。

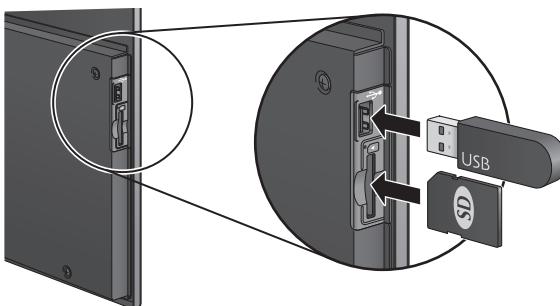
標準に戻す

「HDMI」の各設定を初期状態に戻します。

SD カードや USB 機器の写真を見る

使用上の注意

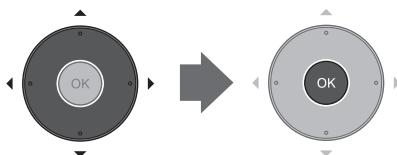
- USB 機器や SD カードは、正しい挿入方向をご確認のうえ、ていねいに抜き差ししてください。間違った使用は機器の破損の原因になります。
- データは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- マウスやキーボードなどは接続しないでください。
- USB ハブや延長ケーブルは使用しないでください。

1 SD カードまたは USB 機器を本体側面の SD カードスロットまたは USB タイプスロットに接続する

- SD カードは、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- SD カードを抜き取るには、「カチッ」と音がするまで SD カードを押し込んでから、つまんで引き出してください。

2 入力を「Input-4」に切り換える

フォルダーと写真を一覧表示するフォルダーインデックスが表示されます。

- 次／前のページを見るには [GREEN] ／ [RED] を押します。
- SD カードと USB 機器の両方を接続したままで本機の電源を入れると、SD カードの中の画像が優先して表示されます。USB 機器の中の画像を表示させたい場合は、「デバイス」で設定を切り換えてください。（➔ 39 ページ）
- ファイルによってはサムネイル画像を表示できません。
- ファイル名はアルファベットのみ表示できます。
- ファイルサイズの大きいものは表示が遅くなる場合があります。

3 見たい写真を選び、[OK] を押す

選んだ写真がフルスクリーンで表示されます。

- 画像のサイズによっては、上下左右に黒い帯が表示されることがあります。
- フォルダーの中の写真を見るには、見たいフォルダーを選んで [OK] を押します。
- 次／前の写真を見るには [▶] ／ [◀] を押します。
- フルスクリーンの写真表示からフォルダーインデックスに戻るには、[BACK] を押します。

フォトビューアーを中断するには

「Input-4」以外の入力に切り換えます。

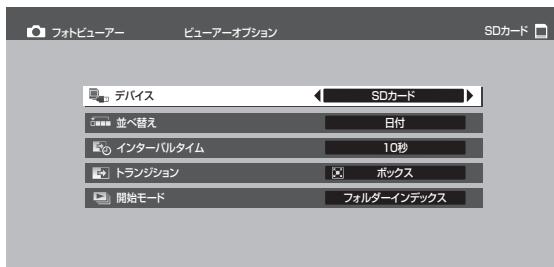
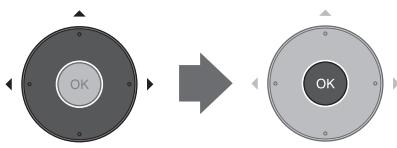
写真をスライドショーで見る

1 フォルダーインデックス画面で [YELLOW] を押す

YELLOW

- カーソルのある写真からスライドショーが始まります。
- 再生を一時停止／再開するには、[OK] を押します。
- ランダムな順序で再生するには、フォルダーインデックス画面で [BLUE] を押します。
- スライドショーを解除するには、[BACK] を押します。

設定を変更する

1 設定メニューを開く

2 設定する

3 メニューを閉じる

◆デバイス

表示するデバイスを切り換えます。

◆並べ替え

写真の表示順序を設定します。

- **ファイル名**：ファイル名順に表示します。
- **日付**：ファイル更新日の古いものから順に表示します。

◆インターバルタイム

スライドショー中の各写真の表示時間を設定します。

◆トランジション

スライドショーの効果を設定します。

◆開始モード

フォトビューアーを開いたときに、フォルダーインデックスを表示させるかすぐにスライドショーを再生するかを設定します。

SD カード /USB 機器について

- 本機で使用できる機器の最大容量は以下の通りです。
  - SD カード、miniSD カード、microSD カード：2GB まで
  - SDHC カード、miniSDHC カード、microSDHC カード：32GB まで
  - USB 機器：32GB まで
- miniSD カードや microSD カードを再生するときは、専用のアダプタを装着して、本機に入れてください。
- SD カードは、動作保証温度 −25℃〜 85℃のものをご使用ください。
- 全ての SD カード /USB 機器の動作を保証するものではありません。
- SD カードのフォーマットは、デジタルカメラなどの撮影機器で行うか、パソコンの SD カード専用フォーマットソフトで行なってください。
- USB メモリのフォーマットは、パソコン上で「FAT32」または「FAT」で行なってください。

再生可能なファイルについて

- ファイル形式：JPEG（拡張子：jpg、JPG）
- 画素数：160 × 120 ピクセル〜 8192 × 8192 ピクセル（ただしファイルサイズは 10MB 未満）
- JPEG 形式以外の静止画（TIFF 形式など）、プログレッシブ JPEG、JPEG 2000、MOTION JPEG、および音声ファイルなどのデータは再生できません。

画像ファイルの表示について

- ファイル名が長すぎる場合は、一部省略して表示されます。
- パソコンなどで編集・コピーした画像は、ファイルの日時情報が変更されたり、サムネイル画像が消失したりする可能性があります。
- 作成した機器によっては、画像が正しく再生できないことがあります。
- ファイル数やフォルダ数が多い場合、表示に時間がかかることがあります。
- 本機で扱える画像のファイル数は、最大で 9,999 枚です。
- 8 階層を超えるフォルダー内にある画像ファイルは、表示できないことがあります。
- 再生できない画像の場合、サムネイル画像が表示されることがあります。
- 「映像」メニューから画像ファイルの画質を調節できます。ただし、一部調節できない項目があります。

外部制御の使いかた

RS-232C 端子（本機背面）とパソコンまたは専用コントローラーを接続して、モニターを外部から制御します。

- 本機背面の RS-232C 端子に付属の RS-232C 変換ケーブルを接続してください。(➔ 07 ページ)

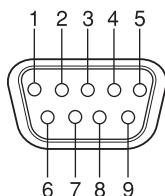
制御仕様

ケーブル

RS-232C クロスケーブル

通信仕様

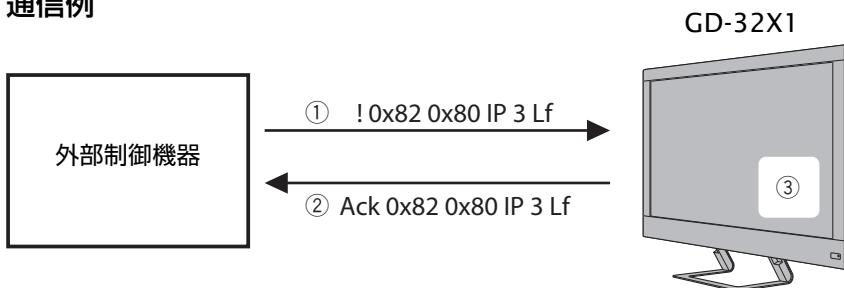
- ボーレート：　19200bps
- データ長：　8 ビット
- パリティ：　奇数パリティ
- ストップビット：　1 ビット
- フロー制御：　なし
- 通信コード：　ASCII コード

端子の仕様

端子はオスです。

ピン番号	信号
1	—
2	RXD
3	TXD
4	—
5	GND
6	—
7	—
8	—
9	—

コマンド概要

制御コマンドを送ることで、外部からモニターを制御します。

通信例

①「Input-3」を選択する制御コマンド
② モニターからの肯定応答
③ 入力が「Input-3」に変わる

コマンドの構成

! 0x82 0x80 IP 3 Lf

a b c d e f

a:	ヘッダー	! : 外部機器からの制御コマンド ? : 外部機器からの参照コマンド @ : モニターからの応答コマンド Ack (0x06): モニターからの肯定応答 Nak (0x15): モニターからの否定応答
b:	機器 ID	0x82（固定）
c:	モニター ID	0x80 ～ 0xFF（初期設定は 0x80）
d:	コマンド	「コマンド一覧」（➔ 42 ページ）
e:	データ	
f:	終了コード	Lf (0x0A)

コマンド一覧

- 「*」はモニター ID です。通常は「0x80」に設定します。
- 「xx」または「x」には、データ内容を入力します。

No.	コマンド									
1†	!	0x82	*	P	W	x	Lf			
2†	!	0x82	*	I	P	x	Lf			
3†	!	0x82	*	V	L	x	x	Lf		
4†	!	0x82	*	A	M	x	Lf			
5†	!	0x82	*	V	S	x	Lf			
6†	!	0x82	*	A	S	x	Lf			
7	!	0x82	*	R	C	x	x	x	x	Lf
8	!	0x82	*	S	U	I	C	x	x	Lf
9	!	0x82	*	S	U	R	M	x	Lf	
10††	!	0x82	*	S	U	F	K	x	Lf	

† データバイトを省略して「！」の代わりに「？」を入力すると、参照コマンドになります。参照コマンドを送ると、モニターの現在の状態が返ってきます。

†† この設定を変えると、「フロントパネルロック」（➔ 27 ページ）設定も変更されます。

機能	データ内容
本機電源の入／切	0: 切 1: 入 ＋ : 入／切を切り換える
入力を選択する	1: Input-1 ／ 2: Input-2 ／ 3: Input-3 ／ 4: Input-4
音量を調節する	00 ～ 50: 音量値を設定する ＋ : 音量を上げる － : 音量を下げる
消音の入／切	0: 切（通常の音量） 1: 消音 ＋ : 入／切を切り換える
「設定メモリー」（➔ 13 ページ）を選ぶ	0: メモリー 1 1: メモリー 2 2: メモリー 3 3: メモリー 4 4: メモリー 5 5: メモリー 6 ＋、－ : 設定を切り換える
アスペクトを切り換える	0: パノラマ／パノラマズーム 1: シネマ 2: フル 3: ノーマル／スリム 4: ピュア HD 5: 14:9 ズーム 6: 字幕パノラマ 7: ジャスト 8: １：１ 9: 自動 ＋、－ : アスペクトを切り換える
リモコンのコードをパススルーで送信する	0x0000 ～ 0xFFFF
モニター ID を設定する	0x80 ～ 0xFF
リモコンからの操作を有効にする／無効にする	0: 無効 1: 有効
本体ボタンからの操作を有効にする／無効にする	0: 無効 1: 有効

困ったときは

こんなときは故障ではありません

- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（黒点）がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、ご了承ください。
- 静止画を表示し続けたときに、画面に残像が生じることがあります。残像はしばらくすると消えます。
- 下記のような場合でも、画面や音声に異常がなければ心配ありません。
  - ディスプレイパネルに手を触れると弱い静電気を感じる場合。
  - 本体の天面や背面の一部が熱くなっている場合。
  - 本機から「ミシッ」という音がする場合。
  - 本体の内部から動作音が聞こえる場合。
- 本機が正常に操作できなくなった場合は、次の操作を行なってください。
  - 電源コードをコンセントから抜き、再度差し込む。

電源が入らない

- 電源コードを接続する。（➔ 08 ページ）

リモコンで操作ができない

- 電池を正しい向きで入れる。（➔ 04 ページ）
- 電池を新しいものに交換する。
- リモコンを本体の受光部に向けて操作する。（➔ 09 ページ）
  - リモコンの有効距離は約 7 メートルです。
- 本体の近くから操作する。
- リモコンと本体の間に障害物を置かない。

接続した外部機器からの映像が出ない

- 正しい外部入力を選ぶ。
- 外部機器を正しく接続する。
- 外部機器の電源を入れ、映像を再生する。

音が出ない

- 専用スピーカーユニット（別売り）を取り付けないと本機からは音が出ません。（➔ 05 ページ）

- ※（消音）ボタンを押す。
- アンプの接続を確認する。
  - 「スピーカー」が「アンプ」に設定されているときは、音声は本機のスピーカーではなく、アンプから出力されます。（➔ 11 ページ）

HDMI 機器からの映像が出ない

- 正しい外部入力を選ぶ。
- 規格認証済みの HDMI コードを使う。
- HDMI コードは、最大で 1080p 以上の HD 信号の伝送試験に合格している「高速対応 HDMI™コード」をご使用ください。（➔ 07 ページ）

HDMI 機器からの音声が出ない

- 「Input-1 音声入力」を適切に設定する。（➔ 35 ページ）

HDMI CEC 機器を操作できない

- 「HDMI 機器制御」を「する」に設定する。（➔ 34 ページ）
- 接続機器によっては、HDMI CEC による制御ができないことがあります。

本体のボタンで操作できない

- 「フロントパネルロック」を「切り」に設定する。（➔ 27 ページ）

コンピューターからの映像がきれいに表示されない

- 「PC 設定」の各項目を設定する。（➔ 32 ページ）

画面表示が消えない

- 外部機器の電源を入れ、映像を再生する。
  - 入力信号がないときに画面表示を消すことはできません。

映像と音声がずれている

- 「リップシンク」を調節する。（➔ 25 ページ）
- 「高画質補正レベル」を設定する。（➔ 23 ページ）

画面の色合いがおかしい

- 「映像」の各項目を調節する。（➔ A-2 ページ）
- 映像設定のプリセットをロードするとおすすめ設定に戻ります。（現在の調節値は破棄されます。）（➔ A-3 ページ）

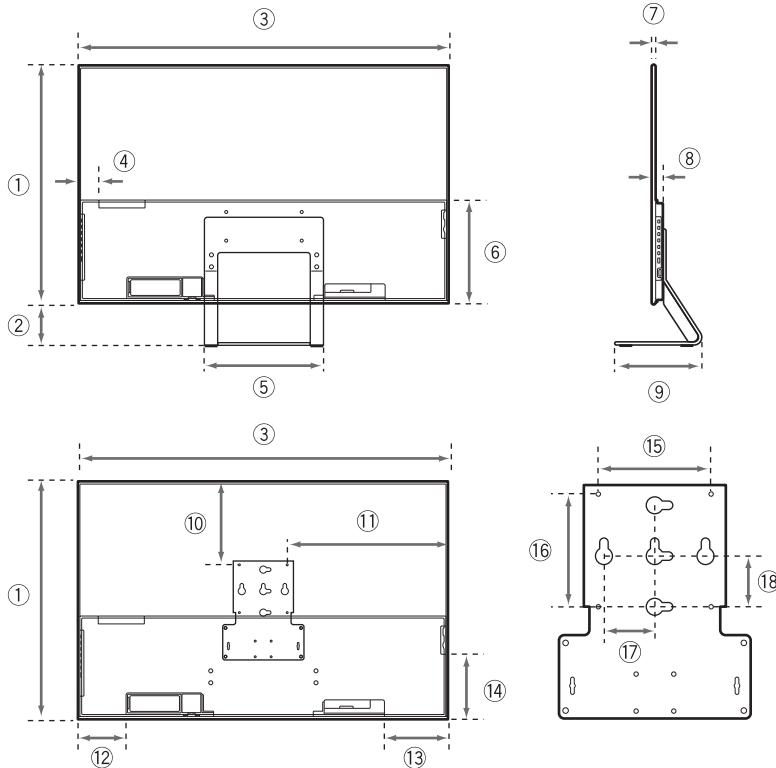
SD カードや USB 機器の中の画像ファイルが再生できない

- 本機で対応しているファイルを再生する。（➔ 39 ページ）

仕様

型名	GD-32X1
液晶パネル	32V 型
有効画面寸法 （幅×高さ／対角）	698.4 mm × 392.85 mm ／ 801.3 mm
表示画素数	1920 × 1080
表示色数	1.07 billion (10 bit color)
視野角（標準値）	左右：178° 上下：178°
輝度（標準値）	400 cd/m^2
コントラスト比（標準値）	4000：1
水平 / 垂直周波数 （パソコン信号）	水平：24.83 kHz ～ 67.5 kHz 垂直：56.42 Hz ～ 75 Hz
対応映像信号フォーマット	➔ 48 ページ
音声実用最大出力 （JEITA）*	スピーカー：5 W + 5 W （別売り専用スピーカー（12 Ω）取り付け時）
動作使用条件	温度 0℃～ 40℃ 湿度 20% ～ 80%（非結露） （動作使用条件は設置環境により多少異なります。）
使用電源	DC 28V
AC アダプター （FSP180-AKAN1）	AC 100 V – 240 V、50 Hz/60 Hz
消費電力	136 W
待機時消費電力	AC 230 V 時：0.6 W AC 100 V 時：0.9 W
外形寸法	➔ 47 ページ
質量	約 5.7 kg（本体のみ） 約 6.9 kg（スタンドを含む） 約 6.4 kg（ベサブラケットを含む）
付属品	➔ 04 ページ
入力端子	HDMI × 2、D-sub 15 ピン、音声入力端子（3.5mm ステレオミニジャック）、USB タイプスロット、SD カードスロット
出力端子	専用スピーカー用出力端子
外部制御	RS-232C 準拠

外形寸法

単位：mm

①： 496.1
②： 55.0
／80.0（スピーカー取り付け時）
③： 772.4
④： 40.7
⑤： 254.0
⑥： 214.7
⑦： 7.8
⑧： 22.5
⑨： 190.9
⑩： 173.7
⑪： 336.2
⑫： 99.8
⑬： 133.7
⑭： 136.0
⑮： 100.0
⑯： 100.0
⑰： 45.0
⑱： 45.0

- VESA 金具取り付けネジ（M4 × 12 ～ 16）は、壁掛け金具に合った長さのものをご使用ください。
- 画面サイズの V 型（32V 型等）は、有効画面の対角寸法を基準とした目安です。
- * は、電子情報技術産業協会の測定法に基づく数値です。
- 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張、省略、合成をしていますので、実物とは多少異なる場合があります。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

対応信号フォーマット（1）

INPUT-3 端子（PC）

信号	周波数		
	垂直（Hz）	水平（kHz）	ドットクロック（MHz）
PC98	56.42	24.823	21.050
VGA 60 †1	59.94	31.469	25.175
VGA 72	72.81	37.861	31.500
VGA 75	75.00	37.500	31.500
WVGA 60 †2	60.00	31.020	33.750
SVGA 60	60.32	37.879	40.000
SVGA 72	72.19	48.077	50.000
SVGA 75	75.00	46.875	49.500
XGA 60 †1	60.00	48.363	65.000
XGA 70	70.07	56.476	75.000
XGA 75	75.03	60.023	78.750
WXGA(1280) †2 †3	59.87	47.776	79.500
WXGA(1360) †2 †4	60.02	47.712	85.500
WXGA 60 †2 †5	60.00	48.363	86.715
SXGA 60 †6	60.02	63.981	108.000
SXGA+ 60 †7	60.02	63.981	108.000
SXGA+ 60*	60.00	65.220	122.614
1280x720	60.00	45.000	74.250
1920x1080	60.00	67.500	148.500

†1:「サンプリングモード」を「標準」に設定してください。
†2:「サンプリングモード」を「ワイド」に設定してください。
†3:「WXGA 選択」を「1280*768」に設定してください。
†4:「WXGA 選択」を「1360*768」に設定してください。
†5:「WXGA 選択」を「1366*768」に設定してください。
†6:「SXGA / SXGA+」を「SXGA」に設定してください。
†7:「SXGA / SXGA+」を「SXGA+」に設定してください。

総領域		有効領域		対応規格
画素数（pixel/line）	ライン数（line/frame）	画素数（pixel/line）	ライン数（line/frame）	
848	440	640	400	—
800	525	640	480	VESA Standard
832	520	640	480	VESA Standard
840	500	640	480	VESA Standard
1088	517	848	480	—
1056	628	800	600	VESA Standard
1040	666	800	600	VESA Standard
1056	625	800	600	VESA Standard
1344	806	1024	768	VESA Standard
1328	806	1024	768	VESA Standard
1312	800	1024	768	VESA Standard
1664	798	1280	768	
1792	795	1360	768	VESA Standard
1793	806	1366	768	—
1688	1066	1280	1024	VESA Standard
1688	1066	1400	1050	—
1880	1087	1400	1050	—
1650	750	1280	720	—
2200	1125	1920	1080	EIA/CEA-861-D

- 上記以外の信号を入力した場合は、映像が正常に映らないことがあります。その場合は、コンピューターの解像度を変更してください。
- 上記のフォーマットの信号でも、正常に表示されないことがあります。
- PC98、VGA 72、VGA 75、SVGA 72、SVGA 75、XGA 70、XGA 75 は 60Hz に変換して画面に表示されるため、動画がスムーズに再生できません。動画などを再生する場合はその他のモードに設定してください。

対応信号フォーマット（2）

INPUT-1、INPUT-2 端子（HDMI-HDMI）

信号	周波数		
	垂直（Hz）	水平（kHz）	ドットクロック（MHz）
VGA 60	59.94/60	31.469/31.5	25.175/25.2
480/60p	59.94/60	31.469/31.5	27/27.027
720/60p	59.94/60	44.955/45	74.176/74.25
1080/60i	59.94/60	33.716/33.75	74.176/74.25
480/60i	59.94/60	15.734/17.75	27/27.027
1080/60p*	59.94/60	67.433/67.5	148.352/148.5
576/50p	50.000	31.25	27
720/50p	50.000	37.5	74.25
1080/50i	50.000	28.13	74.25
576/50i	50.000	15.63	27
1080/50p	50.000	56.25	148.5
1080/24p	23.976/24	26.973/27	74.176/74.25
1080/25p	25.000	28.13	74.25
1080/30p	29.97/30	33.716/33.75	74.176/74.25

INPUT-3 端子（コンポジット）

信号	周波数	
	垂直（Hz）	水平 (kHz)
PAL/50	50.00	15.63
PAL/60	59.94	15.73
SECAM	50.00	15.63
NTSC3.58	59.94	15.73
NTSC4.43	59.94	15.73
PAL M	59.94	15.73
PAL N	50.00	15.63

INPUT-3 端子（コンポーネント）

信号	周波数	
	垂直（Hz）	水平 (kHz)
480/60i	59.94	15.73
576/50i	50.00	15.63
480/60p	59.94	31.47
576/50p	50.00	31.25
720/60p	59.94	44.96
720/50p	50.00	37.50
1080/60i	59.94	33.72
1080/50i	50.00	28.13
1080/60p	59.94	67.43
1080/50p	50.00	56.25
1080/30p	29.97	33.72
1080/24p	24.00	27.00

総領域		有効領域	
画素数 (pixel/line)	ライン数 (line/frame)	画素数 (pixel/line)	ライン数 (line/frame)
800	525	640	480
858	525	720	480
1650	750	1280	720
2200	562/563	1920	1080
858	262/263	720	480
2200	1125	1920	1080
864	625	720	576
1980	750	1280	720
2640	562/563	1920	1080
864	312/313	720	576
2640	1125	1920	1080
2750	1125	1920	1080
2640	1125	1920	1080
2200	1125	1920	1080

* EIA/CEA-861-D に準拠しています。

- 上記以外の信号を入力した場合は、映像が正常に映らないことがあります。
- 上記のフォーマットの信号でも、正常に表示されないことがあります。

ディスプレイキャリブレーション

ガンマと白バランスの較正が必要な場合は、以下のページから専用のソフトウェアがダウンロードできます。

http://www.jvc-victor.co.jp/download/gd-32x1/

- 較正には、エックスライト社のi1Display 2とWindows PCが必要です。

- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- 「x.v.Color」および「x.v.Color」ロゴは商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

輸送上のお願い

- 本機は精密機器のため、輸送時には専用の包装材が必要になります。当社以外の包装材は使用しないでください。

- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- この製品にはオープンソースソフトウェアが組み込まれています。詳しくは、以下のウェブサイトをご覧ください。
  http://www.jvc-victor.co.jp/download/lnx/09jvc_mo/index.html
- 本機の一部において、DejaVu フォントを以下の文書に基づき使用しています。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期限

当社は液晶ディスプレイモニターの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧のうえ、最寄りのご相談窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

44 ～ 45 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	液晶ディスプレイモニター	ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
型　名	GD-32X1		
お買い上げ日	年　月　日	お名前	
故障の状況	できるだけ具体的に	電話番号	（　）　ー

修理料金のしくみ

技術料		部品代		出張料
故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。	＋	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。	＋	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検

●長年ご使用のモニター・ディスプレイ・テレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか

●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
●上下、または左右の映像が欠けて映る。
●映像が時々、消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。

ご使用を中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきまして、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

  1 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。

  2 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。

  - お客様の個人情報に関するお問合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

索引

記号

🔇 10

▲▼◀▶ 10

数字

3DY/C. 22

4：3 画面サイズ設定 31

アルファベット

DVI 06

EXIT 10

HD 画面の
既定画面サイズ 31

HDMI. 34

HDMI CEC 11

HDMI 機器制御. 34

Input-1 音声入力 35

Input-3 設定 31

LINK 11

MENU 12

OPTION 10

PC 設定. 32

PC モニターモード 23

PEQ. 26

POWER 10

RS-232C 40

VOL +/–. 10

ZOOM 10

あ

アンプ制御. 35

色温度 19

映像 A-2, 13

エコセンサー 24

エンハンサー 16

エンハンサー設定 16

音声 25

音量制限 26

か

外部制御 40

外部入力の表示設定 31

画面位置の調節 30

画面サイズ. 28

画面表示 30

カラーシステム 17

カラースペース 18

カラーマトリクス 18

カラーマネージメント. . . . 20

カラーマネージメント
設定 20

ガンマ 21

起動時音量. 26

黒レベル 15

高音 25

高画質補正レベル 23

コントラスト 15

コントラスト設定 15

コンピューター . . . 06, A-10
コンポーネント 06
コンポジット 06

さ

彩度 14
色相 14
色相設定 14
自動ボリューム
　コントロール 25
シャープネス 16
白バランス設定 19
スピーカーユニット 05
接続 06
セットアップ 27
その他 24

た

ダイナミックガンマ 21
低音 25
デジタルカメラ A-11
テレビゲーム A-5
電源コード 08
電源ランプ 09
電池 04

な

ナチュラルシネマ 23
ノイズリダクション 22

は

バックライト 16
バックライト設定 17
バランス 25
パワーインジケーター 30
パワーオフリンク 34
標準に戻す 26, 33, 35
フロントパネルロック 27
本体 09

ま

無信号オートオフ 27
メニュー言語 27

や・ら・わ

リップシンク 25
リモコン 10
リモコン受光部 09
ワンタッチプレイ 34

J-Moss　グリーンマーク表示対象製品です

J-Moss グリーンマークとは、電気・電子機器の特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、6価クロム、PBB、PBDE）の表示ガイドライン規定とサプライチェーンでの該当基準を満たすグリーン製品を示します。

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記のご相談窓口にご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、55ページをご覧ください。

修理に関するご相談	お買い物情報や全般的なご相談
54ページをご覧ください。	**お客様ご相談センター** 0120−2828−17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話　(045) 450−8950 FAX　(045) 450−2275 〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12